

中国とベトナムのイノベーション・システム 著 税所 哲郎

産業クラスターによるイノベーション創出戦略

一党独裁でありながら、国内各地において企業間連携や産学官連携等による産業クラスター戦略の推進でダイナミックな経済状況が見られるのが中国とベトナムである。

産業クラスター戦略に関する活動を積極的に展開させている中国とベトナムのイノベーション・システムを考察することは、わが国のみならずアジア各国における産業政策の実施やビジネスモデルの展開、および疲弊した地域の開発や地域活性化において、非常に参考になることである。

そのイノベーション・システムを考察することで、わが国成長のヒントを探る。

■目次

序章

- 第1章 北京・中関村科技園区における産業クラスター戦略
- 第2章 中国のデジタル・コンテンツ分野における産業クラスター戦略
- 第3章 中国・天津エコシティにおける新たな産業クラスター戦略
- 第4章 LL 事業による日中の地域間連携と環境分野の産業クラスター戦略
- 第5章 ベトナムにおけるオフショアリング開発とソフトウェア・ビジネスの戦略
- 第6章 ベトナムにおける日本語教育と日系ビジネスの人材育成の戦略
- 第7章 ベトナムのハノイ・ホアラク・ハイテク・パークにおける産業クラスター戦略
- 第8章 ベトナムのソフトウェア・ビジネスにおける産業クラスター戦略
- 第9章 新横浜における産業クラスター戦略に関する考察－新横浜 IT クラスターの事例－

税所 哲郎

国立大学法人群馬大学社会情報学部・大学院社会情報学研究科教授。博士(工学)中央大学。1986年3月、中央大学経済学部卒業、金融機関勤務を経て、2004年4月、関東学院大学経済学部・大学院経済学研究科准教授、2009年4月同教授、2010年4月より現職。現在、経営情報、金融情報、情報セキュリティ、情報システム戦略、経営戦略等の研究・教育に従事。専門分野、経営情報、情報システム、情報セキュリティ、経営戦略

A5判 272頁、本体:3,300円(本体)、白桃書房、ISBN:978-4-561-25549-9

http://www.hakutou.co.jp/detail/class_code/25549/

